

「第105回 日本PFI・PPP協会セミナー（平成22年11月22日） ～コンセッションの活用と学校冷房化PFI事業～アンケート」

<A 県>：具体的な事例に基づき、コンセッションを導入した際のイメージを説明いただき、大変参考になりました。来年の通常国会での法改正の動きも含めて、今後も最新の動向に関する情報をご教示いただけると幸いです。

<B 県>：今までたくさんのセミナー、研修を受けて来たが、殆どが全体像や一般的な知識の説明となっていた。しかし、今回は具体的な内容で本当に参考になった。既存の事業をコンセッション方式へ変える考え方や導入可能性調査を行わないやり方などは非常に良かった。

当県では、今後必ず行われると考えている「大規模な行政改革（小さな行政への）」と「道州制による県組織のあり方」がある事から長期事業を契約で固定してしまうPFIを含めた民間手法の導入を行わない方向へ考え方が進んでいる。その様な状況の中で民活手法の導入を推進するために「大きな組織改変や制度改革があった時にも対応ができる契約方法や要求水準の設定方法」についてのセミナーがあれば受講したいと考えている。

<A 市>：本市では市有施設を指定管理制度により管理・運営を行っている。ここ2年間第1期契約期間を経過し、次期契約の時期を向える施設が多くなってきている。しかし、再契約の辞退又は公募しても応募がないケースが発生している。その原因は、①施設の管理のみを民間にまかせている。②収益性に乏しい。③施設単体ごとの指定管理となっている。（②、③：所有権のみのメリットにとらわれすぎているのではないかと思う）などが考えられる。今回お話のあったコンセッション方式を導入することにより⑦所有者（市）⑧事業者⑨利用者のメリットを確保できるケースも考えられる。本市としても検討する価値はあると感じました。ありがとうございました。

<B 市>：指定管理者制度に大変苦慮している時代に突入し、コンセッションは大変参考になりました。又、まちづくり全体の発想として、民間の資金導入をどの様に取り組んでいくか？においてキーワードとなりました。

<C 市>：学校冷房化PFI事業について、大変理解することができました。冷房設備を早期に設置することにより、学校教育環境の向上につながる。このことより、学力向上が図られ、教育環境における都市間競争に優位に立つことができる。

<D 市>：講演の中にもありましたが、目的の次に整備方式が検討されるもので、従来はPFIの導入が目的と並行して議論されてしまうケースがあった。大変参考になり、勉強になりました。ありがとうございました。

<E 市>：コンセッション、冷房化共に大変参考になった。学校冷房化PFIメリットにあった「地域経済へ貢献」という評価項目ということで、地元企業への発注、構成員参加を強く誘導することと、WTO政府調達協定の整合性は問題ないのかということが気になった。冷房化でこれを行うと、他の案件まで普及するのは間違いなく、運用的に問題がなくなれば自治体へのPFI普及のボトルネックの一つが解消されることになるのではないか。本当にこれを考えるのなら、国も含めた解決が必要だと思われるがいかがでしょうか？

<A社>：コンセッションについての概要については、具体例（サンプル）によって一層理解ができました。ありがとうございます。今後、当社は建設業でありますので、建設業としてどのように取組んでいかなければならないかについて考えさせられました。今後コンセッションの制度が一般化された場合には、代表企業として等建設関係企業がコンソーシアムの中心となって事業に取り組むことは難しくなるのではないかと思います。

<B社>：今後コンセッション方式が政府より実施された時、再度利点、問題点のセミナーを開催して頂きたい。大変参考になりました。

<C社>：自治体の人から PFI 方式の利用について、次のような話をお聞きしました。

- ・ 発案から事業者選定まで時間がかかる。
- ・ 要求水準などを設定するのが大変。
- ・ 実施後のモニタリング作業にとっても労力がかかる。

PFI 方式の利用について、簡易版が必要なのかと思いました。

<D社>：大変参考になりました。

<E社>：とても参考になりありがとうございました。具体的な冷房化 PFI の動きの様なセミナーがありましたら、是非、参加したいと思います。

- ・ 学校冷房化 PFI
- ・ 「可能性調査必要なし！」を普及させるべきとのお話は、まさにそうあって頂きたいと思いました。
- ・ 冷房化工事は、8月末竣工かつ、児童・生徒の居ない時期での工事となりますと「土日+夏休み」施工となりますので、工期は4月着工8月竣工の計5ヶ月の短工期となります。（川崎市の場合も同じです）川崎では90校一斉に施工しました。
- ・ 「冷房化事業以外のメニューの追加」について「ここが肝だ」とおっしゃって頂いたので、民間時業者側にはありがたかった。

<F社>：コンセッションについて、インフラ系に限った事業に採用されるのではと狭い分野で感じていたが、既存の PFI 事業において、新たに民間インセンティブが生まれる事で PPP として官民の利益配分の方策が広範囲に適用できる可能性が高いことが理解できた。

<G社>：初めてセミナーに参加したが、コンセッション方式、PFI 方式の利点が理解できてよかった。

<H社>：コンセッションのイメージが良く分かり勉強になりました。ありがとうございました。

<I社>：京都の学校冷房化については、会社でも行っており、少し知識があったのですが、今回の資料はわかり易くまとまっており、更に知識が深まりました。もう少し広まるといいなあと思いました。コンセッションについては、もう少し自分で勉強をしないといけないと思いました。行政の方へ「PFI が最適」といった決めつけの言葉を言わないようにということが印象的でした。

PFI・PPP コンセッションの活用について勉強になりました。以前、東京の小学校建替設計の業務をした際、学校の冷房化をすることができませんでした。今後、PFI 化の導入によって冷房化の学校が増えると良いと思います。

<J社>：学校冷房化事業が思いのほか事業実現が早く出来ることがよく分かりました。

PPP・PFI のメリットについては、理解が深まりました。しかし、デメリットについては、「可能性調査」「時間がかかる」のみを少し触れた程度です。デメリットについて理解を深めたいと思います。

<K社>：学校冷房化についてのご苦労やその率直な評価は大変興味深く伺いました。私も学校冷房化が PFI 方式により格段に進捗すると期待していた者のひとりです。